

のり養殖通報第7報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議

平成26年12月22日発行

[気象]気温は一段階降下

- 12月以降は周期的に強い冬型の気圧配置が訪れ、気温は平年を下回る日が多くなっている(図1)。
- 12月中旬の木更津観測所における降水量は102.5mm(平年14.3mm)、平均日照時間は5.5時間/日(平年5.5時間)。周期的にまとまった降雨があり降水量は平年を大きく上回った。
- 気象予報によると、今後の気温は平年並み前後で経過し、周期的に強い冬型の気圧配置が出現すると予報されている。

[海況]透明度やや低下。栄養塩は十分

- 新富津のり漁場における観測値では、12月初めに見られた暖水の波及は終息し、水温は徐々に低下。12月20日以降はさらに一段階降下し、現在は12℃前後で経過している(図2)。
- 12月18~19日に実施した東京湾の観測結果では、表層水温は概ね内湾10~12℃台、内房は11~14℃で昨年同期より約1℃程度低い水温帯に低下。内湾中央部底層水温も12~13℃に低下。
- 全域で植物プランクトン(優占種はスケレトネマ等の小型珪藻)が増加し透明度がやや低下してきた。ただし、栄養塩は周期的なまとまった降雨による補給もあり、現時点では十分な量が含まれている(右下表)。

[今後の見込みと留意点] 植物プランクトンの動向に注意

- 今後、晴天や風が継続すると植物プランクトンがさらに増殖し栄養塩が減少する可能性がある。今後の動向に注意。
- 現状では栄養塩は全域で十分な量が含まれており、当面色調の良いノリの生産持続が期待できる。良質ノリを増産し生産のピークを形成して下さい。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。

次回は1月8日頃発行します。

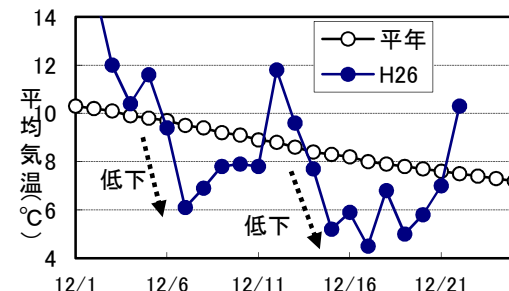


図1 日平均気温 平年との比較(千葉測候所)

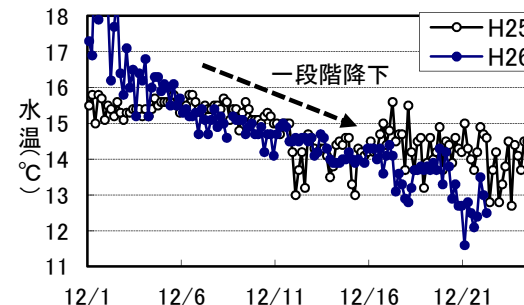


図2 昨年と今年の水溫経過(新富津観測ブイ)

表1 水質観測結果(内湾12/19, 内房12/18)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	10.3	31.5	8.4	2.0	652	32
盤洲Cブイ	12.1	32.6	8.4	4.0	503	32
盤洲Aブイ	12.4	32.7	8.4	4.8	485	32
富津ベタ	12.3	33.0	8.3	3.8	445	35
2海ほ下	14.0	33.8	8.3	7.0	330	26
1海ほ下	13.9	33.7	8.3	5.8	323	26
下洲ベタ	12.5	33.2	8.3	3.9	388	27
大貫ベタ	11.1	33.0	8.3	2.0	342	26
湊ベタ	13.2	33.9	8.3	3.9	284	24

*溶存無機態窒素 (μg/l)、**リン酸態リン (μg/l)

※ノリの色調保持に必要な量=窒素100, リン10